

会派視察研修計画書

令和7年2月20日

碧南市議会議長 様

会派名 翔政会

代表者名

祢宜田 拓治

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	祢宜田拓治、森下敏弥	
日 時	令和7年3月25日（火）～令和7年3月26日（水）	
視 察 先	地方議員研究会 実施講座 会場：京都府南区東九条西山王町1 京都JAビル	
研 修 内 容	地方議員研究会実施講座受講（詳細は別添資料） 1. 持続可能な歳出削減策 2. 質問づくりの本質とは 3. 質問のための情報収集	
日 程	1日目・2日目 碧南中央－名古屋－京都～（京都JAビル）～京都－名古屋－ 講座受講 碧南中央	
交 通 手 段	公共交通機関利用 乗降車駅名（碧南中央、名古屋、 京都）	自家用車利用 _____ 台 所有者名（ _____ ）

（議会事務局記入）

旅 費 の 額	（内 訳）
円	

様式14

会派視察研修報告書

令和 7年 3月31日

碧南市議会議長 様

会派名 翔政会

代表者名 祢宜田 拓治

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。なお、参加議員 2名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	祢宜田拓治、森下敏弥
日時	令和 7年 3月25日(火)～ 令和 7年 3月26日(水)
視察先	京都府京都市 地方議会研修会 研修受講 京都JA会館
研修内容	3/25 持続可能な歳出削減策 3/26 質問づくりの本質とは 質問づくりのためのデータの集め方
視察先面会者 又は講師名等	3/25 村山祥栄氏 3/26 黒瀬雄大氏
備考	

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和7年4月15日

議員氏名 補宜田 拓治

地方議員研究会主催の研修に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期間 令和7年3月25日(火)～26日(木)

2 視察研修先 京都市南区東九条 京都JAビル

3 視察の種類 会派(翔政会)

4 視察の成果等

(1) 3月25日(火) 午前

研修項目: ①アフターコロナの議員目線 夕張からの警鐘 持続可能な歳出削減策

説明者: 地方議員研究会所属講師 村山祥栄氏

研修内容:

① アフターコロナの議員目線 夕張からの警鐘 持続可能な歳出削減策

ア 夕張破綻への道

・1974年 全炭鉱閉鎖

・1979年 中田鉄治市長誕生 「炭鉱から観光へ」

6期24年で観光事業176億円投入

大成功で自治大臣表彰、視察相次ぐ

・第3セクターの粉飾決算

・2006年破綻: 債務超過7億円 実際は40億円超えの債務超過

・一般会計の粉飾決算: 一時借入金の活用(ジャンプ)と特別会計との操作

・2006年 一時借入金355億円

●中田市長の経営の失敗(長期政権の弊害)

・チェック機能の不在

イ 役所が地獄絵図

・役所が維持できないレベルに職員減

ウ 負担激増、サービス低下

・市民税均等割増、施設使用料50%アップ、下水道料金アップ、施設廃止
4中学校、7小学校→1校に統合

・子育て支援事業、ホームヘルパー事業、農業振興、中小企業育成廃止

・役に立たない役所、でも負担は最高額

・財政再建チームは道に設置、なにも決定権のない自治体に

オ 財政再建の道は歳出にあり

- ・法定税が100増えると、地方交付税が75減らされる。
→財政再建は歳出ベースでやるべし。

カ 行財政改革1 予算編成を見直せ

- ・建物は建てない。
- ・財政の運用ルールの厳格化
- ・臨財債を含めた債務の圧縮を着実に遂行すること
- ・目的外の基金の取り崩しを禁止すること
- ・原則的に不用意な債務は認めない
- ・基金からの借り入れ禁止
- ・財政規律条例を市に作らせること
議員立法は予算県の侵害でだめ
- ・決算余剰金の1/2ずつを、減債基金、財政調整基金に編入

キ 行財政改革2 選択と集中

- ・負担の軽減 明石市の5つの無料化
- ・医療費（高校生まで完全無料）、給食費（中学生）、保育料（第2子以降）、遊び場（親子とも利用料）、おむつ（満1歳まで） 所得制限なしの無料化
- ・それによって高額納税者が増えた
- ・認知症チェックシートを提出した人に図書カード500円分
疑いのある人に最大7000円分の健診費用助成
認知症と診断されたらタクシー券6000円分
- ・要支援・要介護認定で1万円支給 認知症の場合はさらに2万円支給
- ・3つの無料券をお届け
 - ① 宅配弁当券20回分
 - ② 寄り添い支援サービス券10回分
 - ③ 1泊2日のショートステイ利用券
- ・こども部門の予算は2倍に（126億→258億）
- ・土木費は136億→73億
- ・公債費130億→119億
- 民生費 343億→591億
- 選択と集中 「あれもこれも」から「あれかこれか」の時代

ク 歳出見直し

- ・生活保護に関しては、保護を受ける前の指導や対処が肝心
一歩前で生活再建を

ケ 金を借りてモノを作る時代は終わった

- ・PFIの利用を国は進めている。

【所感】

持続可能な自治体経営という視点の重要性を学んだ。
本市でも参考にすべき点や改善点がありそう。

(2) 3月26日(水) 午前

研修項目：①質問づくりの本質とは

説明者： 地方議員研究会所属講師 黒瀬雄大氏

研修内容：

② 質問づくりの本質とは

議会（本会議）での質問の目的を「行政を動かすこと」と設定して、行政を動かすための質問の基本的な考え方を、職員の立場を理解することも含めて、研修を受けた。

ア 質問の目的

- ・議会での質問は分からないことを聞くものではない。
- 行政を動かして、市民にプラスを届けることが大切
- ・行政への質問は、「行政を動かす知的ゲーム」と考える。
- ・ゲームに勝つには、戦略、セオリーとロジック（道筋、論理）が必要

イ 心構え

- ・「職業的懐疑心」「健全な批判精神」が不可欠
- ・賛成の議員こそ質問する責任がある。
- ・わからないまま採決に臨まない。
- ・信用しないから質問するのではない。
- ・信用すると確認するは両立する。
- 物分かりが悪く、しつこく聞く。
- ・議員の時の人格は、普段の人格と違ってよい。

ウ 質問と質疑の違い

- ・質疑は、議案に対して行うもの。
- ・一般質問は、市の一般事務について行うもの。
- ・根拠条文（標準市議会規則の例）では、（発言内容の制限）第55条③で、議員は、質疑に当たっては、自己の意見を述べることができない。とある。
- 特定の議案について疑問に思った点を、議案提案者に質すのが質疑で、自分の意見を述べたり、それに対する首長の考え方を問う事はできない。
- ・質問は、市政に関係すればなんでも質問できる。
- ・自分の意見を述べたり、それに対する首長の考えを問う事ができ、議員からの政策の提言も、それに対する首長の考えを聞く事も出来る。

エ 質問の基本

- ・職員から尊敬される議員になるべき
- ・勉強に裏打ちされた独自の視点を持つ
- ・多くの人の意見から発言する。

オ 良い質問の仕方

- ・た（例えば）：緊急の場合とは、例えばどのようなケースを想定か、～等の等とは、具体的に何ですか。
- ・ち（違いは）：この事業をやるとやらないことの違いは、旧事業と新事業の違いや影響の違いは
- ・つ（つまり？）：つまり、問題の核心はどこですか、要するに、何が一番重要だと考えているのか、
- ・て（定義は）：総合的に、の定義は何ですか、時期を見て、の定義を教えてください。～はどのような意味で使っていますか。
- ・と（統計的な裏付けは）：事業の効果があったと言われた統計的な裏付けは、アンケート結果について、統計的有意性は顕彰されたのか教えてください。

カ 行政を動かす質問

- ・行政が動くまで質問する。
- ・動いたら、議場で褒める。
- あるべき像を聞く。現状を確認する。矛盾を指摘する。提案する。の順
- ・行政自身の言葉で行政を動かすよう質問を設計することが大切

【所感】

今まで、行政の経験や周りの方からの依頼等、また、これはおかしいと感じた事例を質問してきたが、質問の仕方やより良い答弁を引き出すような手練手管を知らなかったので、今回の研修で本来あるべき質問者の姿を少し会得できたような気がする。より頑張る。

(3) 3月26日(水) 午後

研修項目：①質問づくりのためのデータの集め方

説明者： 地方議員研究会所属講師 黒瀬雄大氏

研修内容：

① 質問づくりのためのデータの集め方

質問は、制度や行政の運用が現実にそぐわない部分を指摘する。客観的な情報と現実との食い違いを指摘するためには、行政が認める情報源を知る必要がある。

ア 議会での質問の3つのスタイル

- ・追及型、提案型、進捗確認型がある。
- ・追及型：執行部側が出した資料は当てにならないと考える。
- ・提案型：他市で導入された成果を参照すると効果的
- ・進捗確認型：執行部側の資料をベースに進捗を確認、発生した課題の状況

イ 質問を作る発想術

- ・ニュースから：他市の不祥事が判明したときに同じ問題がないか確認
- ・他市の先進地事例を参考にする。
- ・国の文書等から：くにの補助事業についてしの取組みを聞く。市の計画の進捗確認

ウ 資料の探し方

- ・地域経済分析システム RESAS を参照する。

エ 役所の資料は質問づくりの宝庫

- 決算審査意見書は行政自身が発表する行政課題の宝庫

オ 国の「予算編成の留意事項」は国が地方にやって欲しい事業の一覧

- ・国が～という事業を、予算を付けてやるようだが、本市はどう取り組むのか、という方が行政は動く。

【所感】

質問を考える際の参考とすべき資料について、質問をする内容に応じた資料を探すことはあるが、参考資料に基づいた質問という発想はなかったので、参考にしたい。

今回の研修は、基本的な議会質問について勉強できて、大変参考になった。

視察研修成果報告書

令和 7年 3月 31日

議員氏名 森下敏弥

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期 間

令和 7年 3月 25日（火）～令和 7年 3月 26日（水）

2 視察先

京都府京都市 京都 J A 会館

3 視察の種類

地方議員研究会開催セミナー参加

4 視察の成果等

- ・アフターコロナの議員目線、夕張からの警鐘 持続可能な歳出削減（参考資料 1）
高齢化と労働人口減少が進み歳入拡大が見込めない中、従来のように行政ですべて行っていく事は限界が来ていると考えられる。如何に民間力と協業するか、民間資本をうまく活用し民間が利益を得る事を目指しながら行政サービスも同時に向上させられる政策立案が今後重要になってくる事を認識した
- ・質問づくりの本質とは（参考資料 2）
質問は行政に「動いた方が得だ」「動かざるをえない」と思わせる事が重要でその質問の仕方についてノウハウを教えて頂いた。“あるべき姿の確認”、“現状の姿の確認”、“矛盾について”、“提案”の流れで理屈が通った質問を行えるべく今後とも勉強を行っていく。
- ・質問づくりのためのデータの集め方（参考資料 3）
一般質問のデータ入手は時に困っていたが、各機関が色々用意している事が分かった。質問のスタイルにより必要なデータは異なるので、それら特徴をうまく使い分け質の良い質問を行える様スキルアップを図っていく。

参考資料 1

地方議員研究会開催セミナー

期 間 : 令和7年3月25日(火) 14:00~16:30

場 所 : 京都市 JA会館

研修テーマ : アフターコロナの議員目線 夕張からの警鐘 持続可能な歳出削減策

講 師 : 村山祥栄氏

内 容

夕張市に学ぶ財政破綻講座

石炭鉱山の発展で1960年人口11万7千人と繁栄、1974年全鉱山が閉鎖、1979年中田鉄治市長が誕生し、「炭鉱から観光へ」を掲げ観光事業に176億円を投入したが、2006年に7億円の債務超過で破綻。実際の債務超過額は40億円を超えるものであった。

観光事業の例 石炭博物館15億円、石炭の歴史館55億円、世界の動物園4億円、

ロボット大科学館8億円、メロン城6億円、マウントレーススキー場26億円 等

第三セクターの粉飾決算と一般会計の粉飾決算 2006年355億円の借入金が発覚

ヤミ起債(トンネル)公社での借り入れが莫大に、一般会計では特別会計との間で貸付、返済の繰り返して粉飾。

まとめとして市長の経営の失敗(長期政権の弊害)とチェック機能の不在(監査委員、議員の責任) 住民への説明不足など。

自治体が破綻すると①役所が地獄絵図とかす。職員減員、早期退職勧告・給与減少・消防の減少など、役所が維持できなくなる。②市民の負担増となつても、市民サービスは最低限に低下する。

③市が国家管理となる。④市の人口流出、税収減少

行政改革総論1 予算編成を見直す

財政再建の道は歳出にある

歳出は減らした分だけ楽になる。財政再建は歳出ベースで行うべき。

- ・財政の運用ルールの厳格化
- ・財政調整基金を基準まで貯める
- ・臨財債を含めた債権の圧縮を着実に遂行する
- ・目的外の基金の取り崩しを禁止する
- ・原則的に不用意な債務は認めない⇒金利は危険、要注意

⇒歳入と歳出のバランスを直さない限り財政再建は永遠にできない！！

参考資料 1

行政改革総論2 選択と集中

兵庫県明石市は子供予算が充実している事が有名だが、使い道を大胆にシフトして確保した。土木費を半減させて民生費、衛生費を増額。こども政策は所得制限なしとした為、高所得者も含め移住が増加し歳入増加の効果も。

例

行政改革、事業の見直し

- 救急車の搬送回数が増える一方のなか、それに伴うコストもばかにならない。東京都が要請理由を調べた処「交通手段がなかった」「どこの病院に行けば良いか分からない」など、適正な使い方でない事もある実態が浮き彫りになった。その対策として#7119ダイヤル(症状から対処をアドバイスする相談窓口)を設定して改善を図る。

行政改革 無駄使いのチェック

- 水素自動車を購入し市民レンタルして環境促進を図る考えで進めたが、稼働率は13%、全体で約3575万円を掛けたにも実際に利用した人数は89人。CO2削減、燃料電池車の復旧に努めると言うが、無駄使いではないか。
- 予算使ったら、ハイ終わり。やりっぱなし
男女共同参画推進事業には啓蒙啓発が多いが、こうした啓蒙啓発は効果検証がしにくく、やりっぱなしになる事が多い。
⇒啓蒙啓発系は無駄使いの温床。中身を精査すると問題だらけ。

金を借りてモノを作る時代は終わった

官民連携(PPP)を進めて行く事が重要

PFI、指定管理者制度、公設民営(DBO)方式、自治体業務のアウトソーシング、包括的民間委託といった手法があり、建築・改修関係はいったんPFI手法を検討するべきである。

最近ではPFS(成果連動型民間委託契約方式)も注目される。経産省の補助金も多い。

また、その先の形としてSIB(Social Impact Bond) PFIの一種で民間資金で成果報酬型の委託事業を実施するインパクト投資。就労支援、糖尿病予防、心臓病予防などの初期投資のかかる予防的な事業にSIBは有効。

<所感>

高齢化と労働人口減少が進み歳入拡大が見込めな中、従来のように行政ですべて行っていく事は限界が来ていると考えられる。如何に民間力と協業するか、民間資本をうまく活用し民間が利益を得る事を目指しながら行政サービスも同時に向上させられる政策立案が今後重要になってくると認識した。

参考資料 2

地方議員研究会開催セミナー

期 間 : 令和7年3月26日(水) 10:00~12:30

場 所 : 京都市 JA会館

研修テーマ : 質問づくりの本質とは

講 師 : 黒瀬雄大氏

職歴 地方公務員(大学で地方財政学を研究)⇒地方議会議員⇒民間企業勤務

内 容

質問の目的 : “行政を動かすこと”であり“分からない事を聞く事”ではない。
不作為や不正を追及する事も有るが市民にプラスになる事が重要
行政への質問は「行政を動かす知的ゲーム」の要素が有る。

- ・質問と質疑の違いは質疑は議案に対して行うもの。質問は市の一般事務について行うもの
- ・議員は情報収集能力、論理構成能力より大事なものは心構え。
党派関係なく職業的懐疑心、健全な批判精神が必要

質問の基本 :

職員から見て良い議員

- 一般質問や委員会で質問をしない。
- 全ての議案に賛成する。
- 修正提案や議員提案をしない。

職員が嫌いな議員

- 質問が的はずれ。
- 思いつきで質問する。
- 質問するだけで責任を取らない。
- 手柄の横取り。
- 無駄にややこしくする

職員から尊敬される議員

- 幹部職員からは基本的に尊敬されている
- 地盤があり、議員の背後に多くの住民の意志がある
- 勉強に裏打ちされた、独自の視点をもたらす

文書質問について導入している議会は増えている

利点は与党的な議員と野党的な議員の情報格差を是正できる。また、非公式な情報提供を市が断る理由と出来ること。

参考資料 2

良い質問悪い質問の具体例

悪い質問:「意気込みをお聞かせ下さい」、「この予算なんですか?」、市に範囲外、長々とした意見の陳述 など

良い質問の「たちつてと」

た:例えば?(具体的には?、どの様な想定ですか?)

ち:違いは?(差分はなんですか)

つ:つまり?(要するにどういうことですか)

て:定義は?

と:統計的な裏付けは?

まとめ

理屈が通った質問を行う

行政が動くまで質問をおこなう

行政が動いた時には議場で職員を褒める

行政が動かないときには議場で詰める。

<所感>

質問は行政に「動いた方が得だ」「動かざるえない」と思わせる事が重要でその質問の仕方についてノウハウを教えて頂いた。あるべき姿の確認、現状の姿の確認、矛盾について、提案の流れで理屈が通った質問を行えるべく今後とも勉強を行っていきたい。

参考資料 3

地方議員研究会開催セミナー

期 間 : 令和7年3月26日(水) 14:00~16:30

場 所 : 京都市 JA会館

研修テーマ : 質問作りのためのデータの集め方

講 師 : 黒瀬雄大氏

職歴 地方公務員(大学で地方財政学を研究)⇒地方議会議員⇒民間企業勤務

内 容

質問をつくる発想術

質問の3つのスタイル

追求型質問 : 問題点や不備を明らかにして行政の責任ある対応を促す

⇒執行部のデータは当てにならない。市が出している情報以外の資料が必要

提案型質問 : 解決策や改善案を行政に提供する

⇒他市で導入された成果を参照するなどすると効果的

進捗確認型質問: 計画の進行具合や成果、今後のスケジュールを明らかにする

⇒執行部の計画を基本に確認。(発生した課題の状況、効果が分かる資料)

質問をつくる情報

ニュース、他市の先進事例、過去の議事録から、住民の意見から、国・市の文書

各種情報類

他市の先進事例:地方公共団体金融機構 先進事例検索システム

地域経済分析システム RESAS

Openwork(国内最大級の社員口コミ数を有する転職・就職の情報プラットフォーム)

e-Stat 政府統計の総合窓口(市町村データ検索)

chiholog 地方議会議事録横断検索(先例を調べる)

決算審査意見書(予算編成の留意事項)

<所感>

一般質問のデータ入手は時に困っていたが、各機関が色々用意している事が分かった。

質問のスタイルにより必要なデータは異なるので、それら特徴をうまく使い分け質の良い質問を行える様スキルアップを図っていきたい。